



# 大銀杏

喜多市立慶徳小学校 学校だより  
令和2年12月23日(水)第35号  
発行責任者 校長 石田 秀喜

【スローガン】 育てよう夢 伸ばそう個性 伝統を受け継ぐ慶徳の子

## 「安全と充実」を目指し みんなで創り上げた2学期・・・

授業日83日間の2学期が終了しました。コロナ禍の中、1学期はほとんどの行事が実施できず2学期以降への延期としていました。結果的には、様々な制限の中ではありますが、「安全と充実」の両立を目指しながら、水泳記録会、運動会、遠足、宿泊学習、修学旅行、学習発表会、マラソン記録会等を実施することができました。保護者の皆様のご理解とご協力あってのことであり、改めて感謝申し上げます。子どもたちも、この2学期において、各種学校行事だけでなく、毎日の授業や家庭学習においても、本校のスローガンである「めあてをもってこつこつと」を実践し、頑張ってきました。



また、子どもたち自身、このコロナ禍において、自分の健康・安全を守るための行動様式を身に付けるとともに、いろいろな制限がある中でも、工夫しながら活動していくことの大切さを、経験を通して学んだように思います。素晴らしい子どもたちです。



## 「お手伝い」でなく、「仕事」を。

「子どもの時に、親の手伝いをしたことがない人間は採用してはならない」と決めている会社があるということ、ある記事で読んだことがあります。

文部科学省の調査でも、お手伝いをする子どもは、正義感や道徳心が強く、いろいろな問題を解決する能力も高いという結果が出ています。

それは別としても、家族の一員として、子どもたちなりにできること、当然しなければならぬことがあります。「お手伝い」などではなく、家族の中での「仕事」として責任を持ってやるべきものがあるはず。その内容はそれぞれの家庭で違うでしょうが、明日からの冬休みに、家族の一員として何をするか考えさせ、実行させて欲しいと思います。そして、やり遂げた時は、物ではなく、心からの言葉で大いにほめてあげてください。

もうすでに、そうしたことを普段からさせておられる家庭が多いことも、直接・間接に聞いております。

## 事故なく けがなく 楽しい冬休みを !!

- ◆ 積雪に伴う事故にあわないように。  
→ 軒下への落雪、川や池、側溝への転落などにあわないよう、危険な場所に近づかない。
- ◆ 交通事故にあわないように。  
→ 道幅が狭くなった道路や、凍結してすべりやすくなった道路の歩行に注意を。
- ◆ 新型コロナ、インフルエンザ、感染性胃腸炎等にかからないように。  
→ 「こまめな手洗い」「マスク着用」「三密回避」「栄養・運動・睡眠」が大切。  
★ 別紙でお配りした「新型コロナウイルス感染予防及び感染者等発生時の報告について」もご覧いただき、ご対応をお願いいたします。

